福がぴょんぴょん! ウサギ () をさがそう!

ジアムへ初詣

江戸時代の備中国(今の岡山県)でつくられたお札には、ウサギが描かれているものがありました。 さぁ、このワークシートの中にウサギはぜんぶで何ひきいるかな?さがしてみましょう!













数字の数だけ ウサギ が いるよ!

どうしてウサギが描かれているの?

ウサギは縁起のいい動物として、昔から着物の柄や絵のモチーフ などにつかわれてきました。たとえば、

- ・ぴょんぴょんとぶ=ものごとがトントンうまくいく
- ・長い耳をもっている=福をあつめる

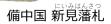
と言われています。このお札のデザインを考えた人も、このような 願いをこめてウサギを描いたのかもしれません。

武士もウサギが好きだった?

ウサギは、動きがすばやくて坂をのぼる のも上手です。

^{たたか} 戦いでいい働きができるように、武士は ^{か変と} 兜や刀のデザインにウサギを好んで

つかっていました。







福がぴょんぴょん!ウサギ

をさがそう!

ジアムへ初詣

ウサギの数:21ひき(お札の中のウサギ:16ひき)

















数字の数だけ いるよ!

にいみはんさつ

新見藩札には福の神がいっぱい!

表面には七福神の「だいこく」が描かれていますが、実は裏面にも 七福神が描かれています。





5分(裏)



4分(裏)



びしゃもん

3分(裏)





べんざい 2分(裏)

ふくろくじゅ 1分(裏)

まだまだ縁起がいいことたくさん!

1匁札の下…「鯉の滝登り」。立身出世(よい地位に ついて、有名になること)をあらわす。

2分札の下…「蓑亀」。長寿のしるし。

ほかのデザインにもどんな意味が あるのか、調べてみよう!



貨幣博物館のおうちミュージアムでは、ほかにも ウサギが描かれたお札を紹介しているよ

▶お札に描かれた干支のぬり絵 一今年は何どし? 熊本藩札 編-



※匁と分は重さの単位。1匁=3.75g。

貨幣博物館で所蔵している藩札の中から図柄の印刷が比較的はっきりしているものをご紹介しています。画像により比率を変えています。